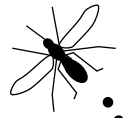


# 日本 脳炎

## にご注意！！



平成28年10月に茨城県内で日本脳炎患者が報告されました。

日本脳炎は、数日間の高熱、頭痛、嘔吐などが現れ、意識障害や麻痺等の神経系の障害を引き起こす病気で、後遺症を残すことや死に至ることもありますので、ご注意ください。

### ■日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスによっておこる感染症で、ウイルスを保有する蚊(主にコガタアカイエカ)に刺されることにより感染します。人から人へ直接感染することはありません。

### ■日本脳炎の症状

日本脳炎はウイルスに感染しても症状が現れずに経過する場合(不顕性感染)がほとんどですが、発症した場合20~40%が死亡に至る病気です(過去には、100人から1000人の感染者の中で1人が発症すると報告されています)。症状が出る場合、6~16日間の潜伏期間の後に、数日間の高熱、頭痛、嘔吐などが現れ、その後急激に、光への過敏症、意識障害(意識がなくなること)、けいれんなどの中枢神経系障害(脳の障害)を生じます。

### ■予防方法

#### ◆蚊にさせないようにしましょう！

- ◇ 長袖、長ズボンを着用するなど肌を露出しないようにしましょう！
- ◇ 忌避剤(虫よけスプレー等)を使用しましょう！蒸発や雨、発汗により効果が低下するため、定期的に再塗布しましょう。

#### ◆ワクチンを接種しましょう！

ワクチン接種により、日本脳炎にかかるリスクを減らすことができます。

